

東京都ブロック対抗水泳競技大会 ADカードについて

コロナウイルス感染予防を一番に考え、東京都水泳協会から案内されているガイドラインを遵守し競技会に参加してください。

入場するには、①ADカード所持 ②健康管理表またはアプリ提出 ③検温（37.5度以上無いことの確認）この3点をクリアしないと入場は出来ません。

- **選手・引率者ともに競技会主催から郵送されてくることはありません。追加要項内よりダウンロードし各団体引率責任者が作成し持参してください。**

【作成時の注意】

- ① 参加団体の引率責任者が作成する
 - ・ ADカードの印刷はカラー印刷が望ましいが、白黒印刷でも構いませんがハッキリと見える状態であること
 - ・ 所属承認印は実印を押す（クラブ印でも責任者印どちらでも構いません）・・・コピーは不可
 - ・ 選手のADカードには、出場するプログラムNoを記載（これが無いと入場時間に入場できない場合あり）
- ② **選手1名につき1枚・引率者は参加者5名につき1枚となっています（実行委員会で競技終了後にチェックします）**
- ③ ボールペン・油性ペン等で記入する（鉛筆・薄い文字ではダメ）
- ④ 不正使用・申請人数以上に作成（特に引率者分）することは、絶対にないようにしてください
- ⑤ ADカードを不正に枚数多く作成して館内に入館した団体については、今後の競技会に参加させない等の処分を科します。

- ADカードは競技会開催期間中使しますので無くさないようにしてください。

- **入場時・館内にいる時は、ADカードは必ずケースに入れ首からかけること（常に見える状態になっていること）
*手に持っている・リュックサック、カバン等につけている場合は、ADカード不携帯とみなします**

- 館内から最終退場（もう2度と館内に再入場しない）の際に、ADカードを退場口の実行委員へ提出してから退場すること。（回収後、実行委員にて不正使用・不正作成をしていないかチェックいたします）
*不正使用・不正作成が発覚した場合、次回以降の競技会への参加資格を失う等の処分を科す場合もあります

- 撮影する方は、事前に購入した撮影許可証をホルダー（事前販売）に入れ首から提げてください。
会場内でのすべての動画・写真撮影は全て許可制とし、許可なく撮影した場合は、メモリー・機材本体等を没収させていただくことがあります。撮影を許可する対象は【出場団体引率者】【出場選手】です。
*ADカード（身分証明・入場許可された者を証明する）と撮影許可証（撮影することを許可された者を証明する）とは、別物です